

竹之丸通信

2025 年 夏号

編集・発行 竹之丸地区センター

〒321-0847

横浜市中区竹之丸 133-3

TEL : 045-651-5575

FAX : 045-651-5576

発行年月日 2025 年 6 月

いつも竹之丸地区センターをご利用いただきありがとうございます。

ラベンダーの花が香る季節に日頃ご利用いただいているサークルの皆様、地域の皆様そして新たに竹之丸地区センターを知っていただく機会としてプロのミュージシャンをお呼びして楽しいひと時を過ごしていただきました。

ラベンダージャズコンサート



2025年5月10日(土)13:30より
今回もステキなプロミュージシャンの
3名に当館でジャズコンサートに出演
していただきました。

左より Bass の山口裕之さん
Piano の沢村繁さん
Cl、Sax の豊村綾香さん

コンサートでは下記の6曲のステキな曲を
演奏いただきました。

1. Ribbon in the sky
2. Stella by starlight
3. Take Five
4. You and the night and the music
5. My favorite things
6. I got rhythm



図書について



いつも当地区センターの図書をご利用いただきありがとうございます。
本の貸出期間 2 週間を遵守くださりありがとうございます。

当館の図書をご利用の方のほとんどの方は貸出期間を守っていただいておりますが、中には当館より「返却期日が過ぎているので返却をお願いします」と TEL 連絡させていただいてもなかなか返却していただけない方がいます。
以前は、TEL 連絡での返却のお願いの後に「返却のお願い」の手紙も出させていたいただいていました。しかし、**切手の料金も高くなりその手紙を数名の対象者に出す料金で新刊本が1冊新たに購入できる金額よりかかってしまうようになってしまいました。**

地区センターの本だから、それほど借りる人はいないと思っている方もいるのかもしれませんが、その本を次に借りたくて待たれている方もいらっしゃると思います。皆様、お忙しい毎日をお過ごしだと思いますがどうぞ他の方のことも考えて期日内の図書返却にご協力をお願いします。

また、万一借りられた本を失くされた場合や破損された場合は同じ本をご購入のうえ返却いただくようお願いいたします。

夏の自主事業の予定

7月4日(金)、11日(金)、18日(金)・・・シニアのスマートフォン講座



7月11日(金)・・・すくすく子育て応援クラブ



7月12日(土)・・・こどもの料理教室



7月13日(日)・・・たけのこミュージック



7月25日(金)・・・押し花で万華鏡を作ってみよう!!

7月28日(月)・・・アイシングクッキーを作ってみよう!!



7月29日(火)・・・ワクワク、ドキドキ陶芸!!

7月30日(水)・・・親子で顔パンを焼いてみよう!!



7月31日(木)・・・知っているようで知らない睡眠について



8月2日(土)・・・ステンドグラスを作ってみよう!!

8月2日(土)・・・キラキラモビールを作ってみよう!!



8月5日(火)・・・ワクワク、ドキドキ陶芸

8月8日(金)・・・楽しい切り絵にチャレンジ!!



8月9日(土)・・・糸かけアートをやってみよう!!



8月16日(土)・・・たけのこミュージック

8月30日(土)・・・すくすくジャンプ



親子向け



幼児向け



子供向け



シニア向け



一般向け

七夕さま



七夕とは、読み方は「たなばた」または「しちせき」で五節句のひとつで中国より日本には奈良時代に伝わり宮中行事になったと伝えられています。
別名 笹の節句と言われ行事食として「そうめん」を食べます。
短冊に願いを込めて笹に飾ると願いが叶う といわれています。

七夕の由来は

「織姫(おりひめ)」は、こと座のベガで裁縫の仕事をつかさどる星、「彦星(ひこぼし)」は、わし座のアルタイルのことで、農業の仕事をつかさどる星です。
織姫と彦星は、旧暦 7 月 7 日に天の川をはさんで最も光り輝いて見えることから中国ではこの日を一年に一度のめぐり逢いの日と考えました。
そして、「織姫と彦星はとても仲の良い夫婦でしたが、お互いに好きになりすぎて仕事が手につかなくなってしまう、それを見た神様が怒って、天の川を挟んで織姫と彦星を離れ離れにし、7 月 7 日にだけ逢えるようにした。」という伝説が生まれたといわれています。

日本では、乙女が着物を織って棚に供え、神様を迎えて豊作を祈ったり、人々の穢(けが)れを祓う「棚機(たなばた)」という禊(みそぎ)の神事が行われていました。

神事に選ばれた乙女は「棚機女(たなばたつめ)」と呼ばれ、清い水辺にある機屋(はたや)に籠って神様のために心を込めて着物を織ったそうです。
その時使われたのが「棚機(たなばた)」という織り機です。

仏教が日本に伝わると「棚機」はお盆を迎える準備として 7 月 7 日の夜に行われるようになりました。

「七夕」を「しちせき」ではなく「たなばた」と当て字で読むのは「棚機(たなばた)」から来ていると考えられています。